


## 正 誤 表

「マップでわかる抗菌薬ポケットブック（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
24	上から7行目	7. 感染象がはっきりしない	7. 感染像がはっきりしない
54	上から12行目	III. Chlamydophila (クラミドフィラ)	III. Chlamydiaceae (クラミジア科)
54	上から13行目	クラミジアから学術名が変更. 最近クラミドフィラに名前が変わっている.	削除
54	上から14行目	①C.psittaci (オウム病)	①Chlamydophila psittaci (オウム病)
54	上から17行目	②C.pneumoniae (クラミドフィラ肺炎):	②Chlamydophila pneumoniae (クラミドフィラ肺炎):
54	上から20行目	③C.trachomatis (トラコーマ):	③Chlamydia trachomatis (トラコーマ):
55	表1	(1)非トレポネーマ検査 (VDRL, PRP)	(1)非トレポネーマ検査 (VDRL, RPR)
58	表5a	Chlamydophila(クラミジアからクラミドフィラに学術名が変わっている)	Chlamydiaceae (クラミジア科)
58	表5a	C.psittaci (オウム病)	Chlamydophila psittaci (オウム病)
58	表5a	C.pneumoniae (肺炎)	Chlamydophila pneumoniae (肺炎)
58	表5a	C.trachomatis (トラコーマ)	Chlamydia trachomatis (トラコーマ)
86	上から3行目	2008年3月31日で薬価収載削除.	現在はバイシリン G 顆粒という商品名に変更され販売されている.
97	図5 ネーム	(アンピシリン・クラブラン酸)	(アモキシシリン・クラブラン酸)

135	上から 2 行目および図 14 の図ネーム	第 4 世代	第 3 世代
169	表 9a	<i>Chlamydomytila trachomatis</i>	<i>Chlamydia trachomatis</i>
247	表 4 ネーム	表 4 定型と非定型肺炎の鑑別に用いる項目 (JRS ガイドラインより)	表 4 定型と非定型肺炎の鑑別に用いる項目 (レジオネラ肺炎は含まない) (JRS ガイドラインより)
256	図 2		<p>【3.GNC】中の記載を【2.GPR】に移動</p>  <p>①市中の定型肺炎 3 つ、非定型肺炎 3 つに加えて上記の肺炎をリスク別に整理する。  ②慢性呼吸器疾患患者は陰性桿菌感染のリスクが高くなり、必要に応じて培養種も考慮。  ③ウイルス性肺炎後にはグラム陽性球菌による二次性の肺炎のリスクが高くなる。  注意：橋隔膜より上の嫌気性菌 ★ <i>Fusobacterium</i> は陰性桿菌。</p>
287	表 5	年齢 > 45 歳	年齢 > 55 歳
303	下から 11 行目	また、状態の悪い患者に関しては、血液も忘れないように行う。	また、状態の悪い患者に関しては、血液培養も忘れないように行う。
316	下から 8 行目	1,850mg	1,950mg
321	表 1	<i>Chlamydomytila trachomatis</i>	<i>Chlamydia trachomatis</i>
327	下から 3 行目	①腸管病原性大腸	①腸管病原性大腸菌
328	下から 3 行目	①腸管病原性大腸	①腸管病原性大腸菌
333	下から 14 行目	(ケフレックス(r) : 経口) 750mg 分 3~1,000mg 分 4	(ケフレックス(r) : 経口) 1,500mg 分 3

358	下から 9 行目	: 経口) 250mg 分 1	: 経口) 500mg 分 1, またはクリンダマイシン (ダラシン R: 経口) 900~1,350mg 分 3~1,200~1,800mg 分 4
-----	----------	-----------------	---

◎以下の頁に記載されているレスピラトリーキノロンのレボフロキサシンに関する記述については、「(注意: 2010年10月にレスピラトリーキノロンのレボフロキサシン点滴静注薬が販売になった)」の記述を追加いたします。

184 下から 1 行目, および表 9, 246 下から 2 行目, 252 18 行目, 253 下から 13 行目, 255 下から 15 行目, 260 7 行目, 359 下から 3 行目

◎以下の頁に記載されている“Chlamydomonada”は“Chlamydiales”に訂正いたします。

12 頁表 1, 29 頁図 2, 155 頁 6 行目, 159 頁図 1, 168 頁表 8, 174 頁図 1, 175 頁図 2, 176 頁 12, 14 行目, 179 頁 3 行目, 183 頁図 3, 186 頁図 4, 197 頁図 2, 202 頁図 1, 215 頁図 1, 218 頁図 1, 233 頁図 1, 236 頁図 1, 263 頁図 1,

◎以下の頁に記載されている“Chlamydomonada”は“Chlamydia”に訂正いたします。

168 頁表 8, 274 頁図 1, 296 頁下から 5, 3, 1 行目, 296 頁図 1, 304 頁表 1, 306 頁図 2, 336 頁 4 行目, 336 頁図 1, 338 頁下から 4 行目, 338 頁図 1, 339 頁 21, 10, 2 行目, 340 頁下から 19, 11, 9, 1 行目, 341 頁 15 行目, 342 頁表 1, 379 頁図 1, 384 頁図 1, 386 頁下から 19, 16 行目, 387 頁 5 行目

◎下記につきましては、南江堂ホームページのサポート情報の記載を参照して下さい。

1. 本書 31 頁下から 8 行目の「nutritional variant streptococci (NVS)」についての記載
2. 48 頁表 1b の表註の記載
3. 225 頁 10~14 行目の「②PRSP」についての記載
4. 252 頁 1 行目および 253 頁 9 行目の「ベンジルペニシリンの用法・用量」の記載
5. 324 頁のピロリ除菌に対する連続治療についての記載

2011年10月28日

株式会社南江堂